

グリーンピープルズパワー株式会社（GPP）

第6回公募増資のお知らせ

～市場価格高騰による損失回復に力をお貸しく下さい～

今回の公募増資の背景

前回募集期日後に申込希望者が多数いたことから追加募集するという趣旨で実施します。

昨年は電力小売市場の市場価格高騰を受けての緊急増資でした。その後、電力小売市場にはさまざまな対策が行われ、昨年1月のように200円/kWhになるような価格高騰は起こらない状態になりました。しかし**昨年10月**から、新しい価格高騰が始まりました。需給逼迫していないのに、ときには市場価格の新上限に設定された80円/kWhに達しました。ひと月の平均価格で20円/kWhを超え、当社が想定している仕入れ価格の2倍で、これが数か月続いています。すでに、経営にかなりの影響を与えています。1月に公募増資をお願いしましたが、2月、3月で、そのご支援分を超える影響となることが確実となりました。

そこで、さらなる公募増資が必要と判断しました。市場価格の影響を受けない、電力供給の仕組みづくりも一方で進めています。なんとか、今、目の前の峠を越えたいと思います。

原因は「ブロック入札」

需給ひっ迫していないのに「売り切れ」が発生

- 日本の電力システム「需給調整」と「入札」は1日を48コマに分けた30分単位。
- 「ブロック入札」これを長時間に束ねる手法。
- **どれか一つのブロック、30分でも約定ができないとブロック全体で約定しない仕組み。**
- 毎日、約定できないブロックが増加。
- **結果、電気が不足して「売り切れ」状態が長時間にわたり発生。**

GPPの対策

- ① 再エネ比率のうち50%以上を非FIT発電所から調達（2022年秋に続々と相対契約がスタート）
- ② 電気消費量や時間帯管理をお願いするユーザーDR（デマンドレスポンス）の実施
- ③ 発電原価調整額の一時的な値上げ
- ④ 蓄電池を活用したVPP（昼間の太陽光電気を夕方に使用できるように貯める）の新設

一時的な市場高騰に対して資金調達により対応し、今後は調達価格の安定した非FIT発電所の仕入れ量を増やすことで価格変動に対応していきます。さらに質の高い電気を供給することで売り上げを確実に増やし、経営の安定化を図り、将来的には株主配当という形で株主還元を目指しています。

